



グリーンレター Green Letter

Green Column グリーンコラム

- 01 峠だけじゃない美幌の自然
- 02 美幌峠のハナワラビ

Vol.340
2025/11/01



町田善康《屈斜路湖のベニザケ》

Photo 今月の1枚

屈斜路湖は、1938（昭和13）年5月の地震で湖底から硫酸塩が噴出し、湖内の魚類はほぼ全滅したと言われています。その後、少しづつ水質の改善が見られ、様々な魚が持ち込まれました。秋、屈斜路湖に潜れば、アラスカを彷彿させる風景に感動すら覚えます。しかし、残念ながら屈斜路湖のベニザケは外来種です。（町田善康）



01 *Green Column* グリーンコラム

峠だけじゃない 美幌の自然

写真・文／町田善康

美幌町には、年間 60 万人が訪れる人気の行楽スポット美幌峠があります。しかし、美幌峠から見下ろすのはお隣の弟子屈町。せっかくならば町内にある素晴らしい場所を探したいと、フォトコンテスト「峠だけじゃない美幌の自然」を開催しました。審査委員長には、町に縁のある世界的な動物写真家 前川貴行氏をお迎えし、写真によって美幌町の魅力を掘り下げました。

嬉しいことに、EIZO 株式会社、サンディスク合同会社、美幌観光物産協会より賞品協賛いただき、フォトコンテストを盛り上げることができました。

結果、町内外からたくさんの作品が寄せられ、美幌町内には峠に負けない魅力的な場所があると感じました。

今後、1月 17 日から 2 月 22 日までの期間で、前川氏が美幌町内で撮影

した写真とともに入賞作品を美幌博物館 2 階ロビーに展示します。美幌町の新しい魅力を発見するとともに、皆さんの芸術への興味関心を広がっていけば幸いです。

ちなみに、今回の写真は、前川氏と一緒に撮影に行ったときに撮ったカルガモの親子です。母親が子供を気遣うほのぼのとした一枚になりました。美幌っていいところだな～。

なお、フォトコンテストは、「サマージャンボ宝くじ」の収益金を活用して実施しました。

美幌峠の ハナワラビ

写真・文／城坂結実



花々が咲き乱れる季節はどうに終わり、日によっては気温が一桁になる美幌峠の10月初旬。樹木の葉が落ち、草花の葉も冬に向けて茶色くなっていく風景を見ると、なんだか少し寂しい気持ちになります。

そんなセンチメンタルな気持ちで秋の美幌峠を歩きながら、ふと足元を見ると、色褪せた葉の中に、青々とした葉をついている植物があるではありませんか！葉のすぐ脇には茎のようなものが立ち上がり、先端には細かい粒々がついています（写真）。花を咲かせる季節を間違えたのだろうか？と思いながら調べてみると、シダ植物の一種で、ハナワラビ科のエゾフユノハナワラビのようでした。粒状のものは花ではなく胞子で、茎のように立ち上がっているものを含めて胞子体と呼ばれます。

「蝦夷冬の花蕨」という名の通り、冬を目前にして新しい葉を出し、花の

ような胞子体を立ち上げる、冬を告げてくれる植物です。エゾフユノハナワラビはめずらしい植物ではなく、美幌みどりの村森林公園や柏ヶ丘公園など、市街地に近い場所にも生育しています。

実は、エゾフユノハナワラビにとてもよく似たものに、ハナワラビ科のヤマハナワラビがあります。ヤマハナワラビは、エゾフユノハナワラビに比べると全体が小さく、葉はやや厚く先は丸みを帯びます。また、柄には白い毛がないか少ないのがポイントとされています。

しかしこの2種類の見分け方は、植物に詳しい人でも間違えてしまうくらい難しいようです。これから冬ごもりの季節。美幌峠に生育しているものがエゾフユノハナワラビなのか、ヤマハナワラビなのか、専門家にも確認しながら、慎重に調べてみたいと思います。

Exhibition 展示

企画展「おひろめコレクション展」

11月15日（土）～令和8年1月18日（日）



Event イベント

持ち物等は申込時にご確認ください

「プチ工房「虫よけオニヤンマ」

11/14(金)、15(土) 10:00～12:00、14:00～16:00 自由入室で作品
ができる次第終了
美幌博物館 1階 講座室・300円

講 師／鬼丸和幸（美幌博物館）
対 象／どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）
申込み／美幌博物館に電話で申込み。各日50名で締切。



「プチ工房「サンタとトナカイのキャンドル」

12/5(金)、6(土) 10:00～12:00、14:00～16:00 自由入室で作品
ができる次第終了
美幌博物館 1階 講座室・300円

講 師／町田善康（美幌博物館）
対 象／どなたでも（小学3年生以下は保護者同伴）
申込み／美幌博物館に電話で申込み。各日50名で締切。



送付先の変更、または停止などをご希望の場合

お引越しなどでご住所が変わられた、あるいは送付を止めてほしいなどの
ご希望がございましたら、美幌博物館までお知らせください。



Tweet つぶやき

どんぐりから苗木を育てようと植えたところ、何者かに掘り出され、齧られてしまいました。歯型もくっきり。動物たちも、冬に向けて大忙しのようです。（城坂結実）



美幌博物館月刊情報誌 Green Letter

【発 行】美幌博物館

【デザイン】城坂結実

【編 集】八重柏誠

【お問合せ】美幌博物館

〒092-0002

北海道網走郡美幌町字美禽 253-4

Tel. 0152 (72) 2160

Fax. 0152 (72) 2162

